

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **07-028912**

(43)Date of publication of application : **31.01.1995**

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

(21)Application number : **05-175175** (71)Applicant : **HITACHI LTD**

(22)Date of filing : **15.07.1993** (72)Inventor : **TOMIOKA**

TAKUMI

YOSHIDA TOMOHIRO

(54) BUDGET AMOUNT CONFIRMING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To reduce the burden applied to the execution of a budget and decision of an approval range of the budged and also to ensure the elastic execution of the budget.

CONSTITUTION: An inputted budget execution amount is compared with the least balance of budged stored in a budget execution file for decision whether the budget can be executed or not (103, 104). If the execution of the budget is impossible, the budget execution amount is compared with the budget balance larger than the least amount for decision whether the budget can be executed or not (106, 107). If the execution of the budged is possible, an approval range of the budget execution slip is decided (109) and the slip is transmitted (111).

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-28912

(43) 公開日 平成7年(1995)1月31日

(51) Int.Cl.⁶
G 0 6 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

8724-5L

G 0 6 F 15/ 22

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平5-175175

(22) 出願日 平成5年(1993)7月15日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 富岡 巧

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12

株式会社日立製作所情報システム事業部内

(72) 発明者 ▲吉▼田 知弘

神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12

株式会社日立製作所情報システム事業部内

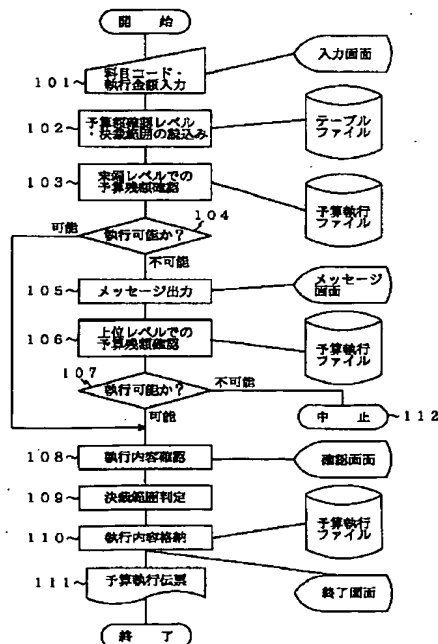
(74) 代理人 弁理士 鈴木 誠

(54) 【発明の名称】 予算額確認方式

(57) 【要約】

【目的】 予算執行を行う場合に予算執行作業および決裁範囲の判定作業の負担を軽減するとともに、弾力的な予算執行を可能とする。

【構成】 入力された予算執行金額と、予算執行ファイルに格納された最下位レベルでの予算残額とを比較して、予算執行が可能か否かを判定する(ステップ103、104)。予算執行が不可能なとき、最下位レベルより上の確認レベルでの予算残額と予算執行金額とを比較して予算執行が可能か否かを判定する(ステップ106、107)。予算執行が可能なとき、予算執行伝票の決裁範囲が判定され(ステップ109)、伝票が出力される(ステップ111)。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 予算執行業務を管理するシステムにおいて、予算科目と予算執行金額からなる予算執行データを入力する手段と、予算科目毎の予算残額を格納する第1の手段と、予算科目に対応した予算残額確認レベルと決裁範囲を格納する第2の手段と、該入力された予算執行データに基づいて、前記第1の格納手段を参照して、予算科目の最下位レベルでの予算残額を確認し、予算執行が可能か否かを判定する第1の手段と、該第1の判定手段において予算執行が可能でないと判定されたとき、前記入力された予算科目に対応した予算残額確認レベルに基づいて、該レベルの予算残額を確認し、予算執行が可能か否かを判定する第2の手段とを備えたことを特徴とする予算額確認方式。

【請求項2】 前記第1、第2の判定手段によって予算執行が可能であると判定されたとき、前記決裁範囲に基づいて、予算執行伝票の決裁範囲を判定する手段と、該判定された決裁範囲を該予算執行伝票および画面上に表示する手段とを備えたことを特徴とする請求項1記載の予算額確認方式。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、予算執行業務を管理するシステムにおいて、予算執行における予算金額の確認方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の予算執行管理システムにおいては、執行する予算科目の最下位レベル（通常は細節）で予算残額の確認が行われ、予算の不足が発生した場合、その科目での執行が不可能となるので、予算枠を上げるために、その都度、必ず他の予算科目からの予算流用処理を行う必要があった。

【0003】また、予算執行伝票の決裁範囲については、予算科目や執行金額の大小によって手作業で判別していた。なお、この種の関連する技術としては、例えば、特開昭63-62088号公報などが挙げられる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記した従来のシステムは、予算執行を行う際、予算残額の確認を予算科目の最下位レベルで行っているため、予算残額に不足が発生した場合、一件毎に他の予算科目からの予算流用を行う必要があり、予算執行作業の負担が増加するとともに、弾力的な予算執行ができないという問題がある。

【0005】また、予算執行伝票の決裁範囲についても、執行する予算科目の種類や執行金額の大小によって別途判定表を作成し、この表を基に手作業で決裁範囲を判別しているため、判定作業の負担も増加するという問題がある。

【0006】本発明の目的は、予算執行を行う場合に予算執行作業および決裁範囲の判定作業の負担を軽減する

とともに、弾力的な予算執行を可能とする予算額確認方式を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するために、請求項1記載の発明では、予算執行業務を管理するシステムにおいて、予算科目と予算執行金額からなる予算執行データを入力する手段と、予算科目毎の予算残額を格納する第1の手段と、予算科目に対応した予算残額確認レベルと決裁範囲を格納する第2の手段と、該入力された予算執行データに基づいて、前記第1の格納手段を参照して、予算科目の最下位レベルでの予算残額を確認し、予算執行が可能か否かを判定する第1の手段と、該第1の判定手段において予算執行が可能でないと判定されたとき、前記入力された予算科目に対応した予算残額確認レベルに基づいて、該レベルの予算残額を確認し、予算執行が可能か否かを判定する第2の手段とを備えたことを特徴としている。

【0008】請求項2記載の発明では、前記第1、第2の判定手段によって予算執行が可能であると判定されたとき、前記決裁範囲に基づいて、予算執行伝票の決裁範囲を判定する手段と、該判定された決裁範囲を該予算執行伝票および画面上に表示する手段とを備えたことを特徴としている。

【0009】

【作用】予算科目と予算執行金額が入力され、入力された予算執行金額と、予算執行ファイルに格納された最下位レベルでの予算残額が比較され、予算執行が可能か否かが判定される。予算執行が可能でないとき、最下位レベルより上の確認レベルでの予算残額と予算執行金額とが比較され、予算執行が可能か否かが判定され、予算執行が可能なとき、予算執行伝票の決裁範囲が判定され、伝票が出力される。これにより、予算執行の際、予算科目の最下位レベルで予算残額に不足が発生した場合でも、任意のレベルで予算残額を確認することが可能となり、他の科目からの予算流用などの予算操作作業の負担が軽減され、弾力的な予算執行を行うことができる。また、予算執行伝票の決裁範囲を自動的に判定しているので、予算執行作業を効率化することができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面を用いて具体的に説明する。図2は、本発明の予算執行管理システムのブロック構成図である。図2において、1は予算執行データを表示するディスプレイ装置、2は予算執行データの入力を行うためのキーボード装置、3は予算執行の可否の判定など予算執行処理を実行するデータ処理装置、4は予算データやテーブルファイル、予算執行ファイルを格納する補助記憶装置（磁気ディスク装置、フロッピーディスク装置など）、5は予算執行伝票などを印刷するための出力装置である。

【0011】なお、本発明では、予算の執行を次のよう

に定義している。すなわち、予算の定めるところに従って、収入・支出を具体的に実行する一切の行為であり、従って、予算の執行は単に定められた金額を収入し、支出することだけを指すものではなく、収入の調定、支出負担行為、歳出予算の経費の流用、地方債の発行、一時借入金の借入れ、債務負担行為の実行などの全てを意味している。

【0012】図1は、本発明の予算執行処理手順を示すフローチャートである。以下、予算科目で財務会計用ファイルを購入する場合を例にして、本発明における予算の執行を説明する。なお、予算科目は、款：農林水産業費、項：農林業費、目：新農業構造改善事業費、事業：東部地区農業構造改善事業費、節：需要費、細節：消耗品費からなる。

【0013】まず、入力画面から、予算科目コード、執行金額（物を買うために必要な金額）を入力する（ステップ101）。この予算科目コードは、予算科目に対応させて付けたコードであり、このコードによって、予算科目の判定や入力作業が省力化される。

【0014】図3は、予算執行処理時の入力画面を示す。この例では、予算科目コードとして、款（01）、項（01）、目（01）、事業（0101）、節（02）、細節（03）が入力される。また、執行金額としては、15000円が入力される。なお、この入力画面の前にキーエントリ画面があり、その画面上で年度や会計コードなどを入力する。そして、図3の入力画面では、執行金額（入力金額）、支出内容が入力され、この画面上における予算科目で、何をどれだけ購入し、支払はどのようにして何時行うか、またどこに支払うかなどを明確にする。

【0015】次いで、図7のテーブルファイルに設定されている予算残額確認レベルと決裁範囲を読み込む（ステップ102）。図7のテーブルファイルは、最下位レベルでの予算残額が不足した場合に、上位レベルでの予算残額の確認を行うための予算残額確認レベル（上位レベル）と決裁範囲を判定するための金額を設定したファイルであり、決裁範囲とは、決裁が何処（誰）から何処（誰）まで必要かを表したものである。

【0016】すなわち、予算科目コードに対応して予算残額確認レベルと決裁範囲が設定されている。予算残額確認レベルは、レベル5（節）から上位レベルの1

（款）までであり、本実施例の予算科目コードに対応する予算残額確認レベルは、レベル5（節）となる。また、決裁範囲は、金額毎に5つの区分に分けられ、例えば100万以上については市長まで決裁を行い（区分1）、10万未満については財政課まで決裁を行うことを表している。

【0017】図1に戻り、次いで、入力された科目（最下位レベル）の予算残額を、図8の予算執行ファイルから読み込み、残額の確認を行い（ステップ103）、予

算執行が可能か否かを判定する（ステップ104）。

【0018】すなわち、ここでは予算残額が執行金額より大きいかなんかを確認する。従来のシステムと同様に、予算科目の最下位レベル（多くの場合、細節が最下位レベルであるが、節や事業が最下位レベルのものもある）で残額の確認を行う。図8は、予算科目毎の執行状況を格納している予算執行ファイルを示し、最下位・上位レベルでの予算残額の確認のために参照され、執行後の各金額を更新し、格納する。この例では、入力された予算科目コード（細節が03）に対応する予算残額は2000円であり、執行金額（15000）より小さいので執行不可能であることから、メッセージ画面にメッセージを出力する（ステップ105）。

【0019】図4は、最下位レベルでの予算残額が不足した場合に出力するメッセージ画面を示す。このメッセージ画面にはさらに、「上位レベルで残額チェックする場合、PF3キーを押して下さい」と表示される。

【0020】このメッセージ画面上でPF3キーが入力されると、予算執行ファイルを参照して、上位レベルの予算残額確認を行う（ステップ106）。すなわち、最下位レベルの予算残額が不足した場合は、ステップ102で読み込んだ予算残額確認レベル（＝上位レベル）の予算残額と執行金額を比較する。これが上位レベルでの予算残額確認である。

【0021】上位レベルでの残額確認は、テーブルファイルから読み込んだ予算残額確認レベルをもとに行い、予算執行が可能か否かを判定する（ステップ107）。ここでは、レベル5の節レベルで確認を行い、図8に示す02節の残額合計が205000円であることから執行可能となり、執行内容を画面に表示し、確認を行う

（ステップ108）。図5は、確認画面を示す。この画面では、上位レベル（02節）での執行状況（支払負担行為額、配当予算額、支払負担行為済額、配当予算残額）と、メッセージが出力される。

【0022】再び図1に戻り、テーブルファイルから予め読み込まれた決裁範囲の区分と執行金額を比較し、執行金額が15000円であることから、決裁範囲を区分4の財政課までと判定し（ステップ109）、その執行内容を予算執行ファイルに格納する（ステップ110）。

【0023】また、執行内容と不要な決裁範囲を‘***’で埋めたものを予算執行伝票に出力し（ステップ111）、終了画面（図6）を表示して終了する。図6は、終了画面を示し、DB更新・伝票出力、決裁範囲の判定の結果がメッセージ出力される。

【0024】予算執行伝票は、図9に示すように、予算執行時に、執行内容を決まった形式で出力する用紙であり、執行内容の連絡や責任を明らかにするものである。また、不要な決裁範囲とは、執行に必要な決裁範囲以外の決裁範囲のことで、図9の例で説明すると、主管課係

長から財政課課長までが必要な決裁範囲であり、総務部長から市長までが不要な決裁範囲となる。

【0025】なお、ステップ104において予算執行が可能な場合は、ステップ108以降の処理を行い、ステップ107で予算執行が不可能なときは、止むを得ず任意の予算科目レベル以外から予算流用を行う必要があり、この処理を中止する（ステップ112）。つまり、予算科目レベル以外の予算流用とは、最下位レベルの予算残額が不足し、任意の予算科目レベルの予算残額も不足した場合に行うもので、従来の予算流用と同じ処理になる。

【0026】

【発明の効果】以上、説明したように、請求項1記載の発明によれば、予算執行業務で予算執行処理を行う際、執行する予算科目の最下位レベルで予算残額に不足が発生した場合でも、予め予算金額を確認する科目レベルを設定してあるので、任意の科目レベルでの予算残額確認が可能となり、他の科目からの流用など、予算操作作業の負担が軽減され、弾力的な予算執行が実現される。

【0027】請求項2記載の発明によれば、予算執行伝票の決裁範囲を自動的に判定し、画面や伝票上に表示し

ているので、決裁範囲の判定作業が省略されるとともに、予算執行作業の効率化が図られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の予算執行処理手順を示すフローチャートである。

【図2】本発明の予算執行管理システムのブロック構成図である。

【図3】予算執行処理時の入力画面を示す。

【図4】予算執行処理時のメッセージ画面を示す。

【図5】予算執行処理時の確認画面を示す。

【図6】予算執行処理時の終了画面を示す。

【図7】テーブルファイルの構成例を示す図である。

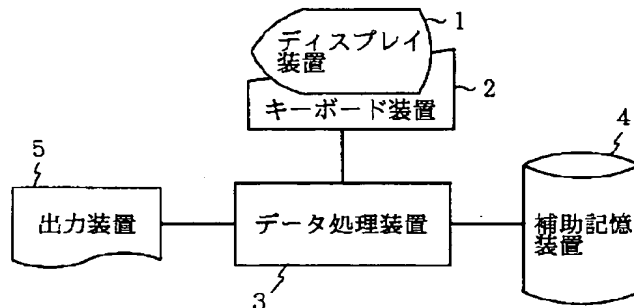
【図8】予算執行ファイルの構成例を示す図である。

【図9】予算執行伝票を示す図である。

【符号の説明】

- 1 ディスプレイ装置
- 2 キーボード装置
- 3 データ処理装置
- 4 補助記憶装置
- 5 出力装置

【図2】



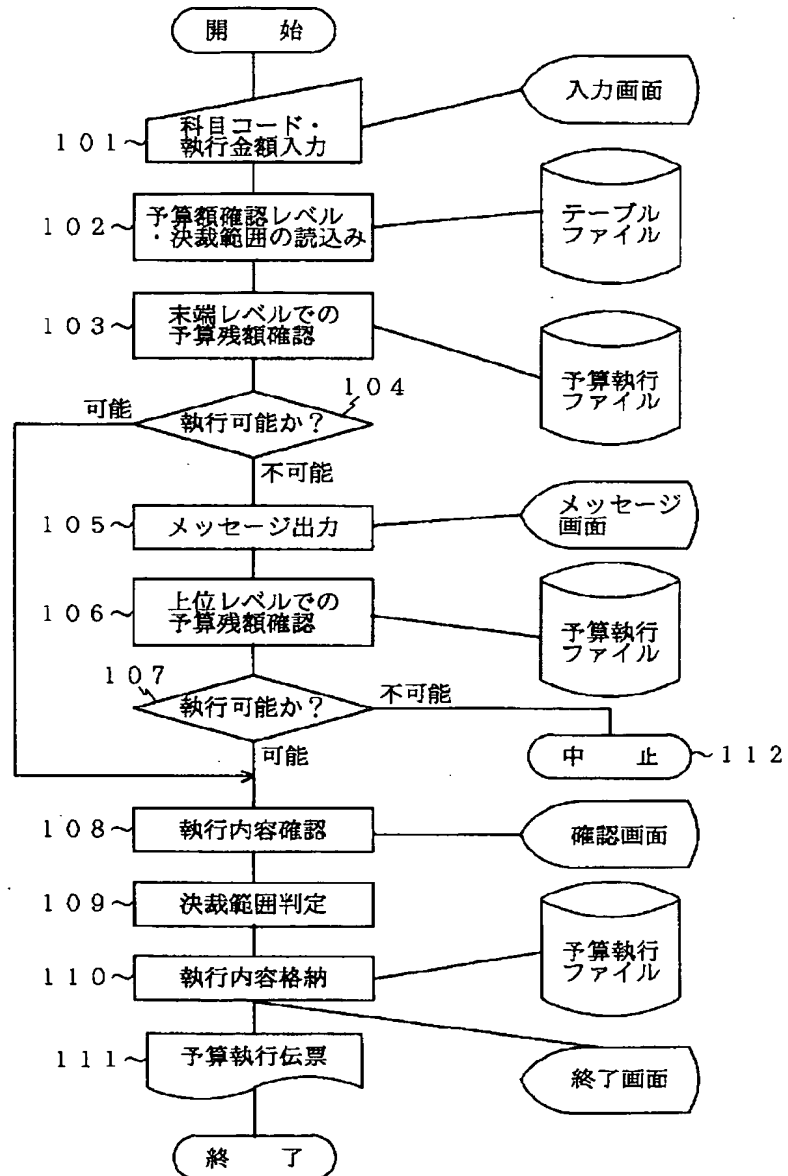
【図8】

予算執行ファイルのレイアウトの一例

予算科目コード (款 - 項 - 項 - 事業 - 節 - 細節)	配当予算額	支出負担行為済額	配当予算残額
01-01-01-0101-01-01	100000	50000	50000
-02-01	243000	240000	3000
-02-02	300000	100000	200000
-02-03	342000	340000	2000
01-01-01-0102-01-01	100000	100000	0
-01-02	200000	200000	0
-01-03	300000	300000	0

02節での予算残額：205000円
(02節内の細部予算残額合計)

【図1】



【図3】

予算執行処理画面の一例（入力画面）

C16 平成 4 年度 << 支出負担行為 >> 92/07/14

支出負担行為番号 ; 起票年月日 ; H04 / 07 / 14
 会 計 ; 01 一般会計 予算区分 ; 1 現年予算
 所属課 ; 003010 農政課 性質別コード ; 12000 - 1

科 目	款	01	農林水産業費	節	02	需要費
	項	01	農林業費	細節	03	消耗品費
	目	01	新農業構造改善事業費	説明	001	消耗品費
	事業	0101	東部地区農業構造改善事業			

入力金額 ; 15000
 支出負担行為額 ; 円
 歳出予算現額 ; 342,000 円
 配当予算額 ; 342,000 円
 支出負担行為済額 ; 340,000 円
 配当予算残額 ; 2,000 円

請求年月日 ; H04 / 07 / 14
 債権者登録番号 ; 0000456 支払方法 ; 3 口座振替 支出区分 ; 1 通常払
 債権者住所 ; 神奈川県川崎市幸区鹿島田
 債権者氏名 ; 日本株式会社
 代表者名 ;
 支出内容 ; 財務会計用ファイル @1500×10

必要項目を入力し、送信キーを押して下さい。

【図4】

予算執行処理画面の一例（メッセージ画面）

C16 平成 4 年度 << 支出負担行為 >> 92/07/14

支出負担行為番号 ;		起票年月日 ; H04 / 07 / 14	
会 計 ; 01	一般会計	予算区分 ; 1	現年予算
所属課 ; 003010	農政課	性質別コード ; 12000 - 1	
科 目 款 01	農林水産業費	節 02	需要費
項 01	農林業費	細節 03	消耗品費
目 01	新農業構造改善事業費	説明 001	消耗品費
事業 0101	東部地区農業構造改善事業		

入力金額 ;

支出負担行為額 ;	15,000 円
歳出予算現額 ;	342,000 円
配当予算額 ;	342,000 円
支出負担行為済額 ;	340,000 円
配当予算残額 ;	2,000 円

請求年月日 ; H04 / 07 / 14

債権者登録番号 ; 0000456 支払方法 ; 3 口座振替 支出区分 ; 1 通常払

債権者住所 ; 神奈川県川崎市幸区鹿島田

債権者氏名 ; 日本株式会社

代表者名 ;

支出内容 ; 財務会計用ファイル @1500×10

入力金額が予算残額を超えています。
上位レベルで残額チェックを行う場合、PF3キーを押して下さい。

【図5】

予算執行処理画面の一例（確認画面）

C16 平成 4 年度 << 支出負担行為 >> 92/07/14

支出負担行為番号 ;		起票年月日 ; H04 / 07 / 14	
会 計 ; 01	一般会計	予算区分 ; 1	現年予算
所属課 ; 003010	農政課	性質別コード ; 12000 - 1	
科 目 款 01	農林水産業費	節 02	需要費
項 01	農林業費	細節 03	消耗品費
目 01	新農業構造改善事業費	説明 001	消耗品費
事業 0101	東部地区農業構造改善事業		

入力金額 ;		0 2 節での執行状況
支出負担行為額 ;	15,000 円	
歳出予算現額 ;	342,000 円	885,000 円
配当予算額 ;	342,000 円	885,000 円
支出負担行為済額 ;	340,000 円	680,000 円
配当予算残額 ;	2,000 円	205,000 円

請求年月日 ; H04 / 07 / 14
 債権者登録番号 ; 0000456 支払方法 ; 3 口座振替 支出区分 ; 1 通常払
 債権者住所 ; 神奈川県川崎市幸区鹿島田
 債権者氏名 ; 日本株式会社
 代表者名 ;
 支出内容 ; 財務会計用ファイル @1500×10

0 2 節で予算残額が十分な為、執行可能です。
 執行を行う場合、PF 5 キーを押して下さい。

【図6】

予算執行処理画面の一例（終了画面）

C16 平成 4 年度 << 支出負担行為 >>		92/07/14
支出負担行為番号; 001025-00		起票年月日; H04 / 07 / 14
会 計; 01 一般会計		予算区分; 1 現年予算
所属課; 003010 農政課		性質別コード; 12000 - 1
科 目	款 01 農林水産業費	節 02 需要費
	項 01 農林業費	細節 03 消耗品費
	目 01 新農業構造改善事業費	説明 001 消耗品費
	事業 0101 東部地区農業構造改善事業	
入力金額;		02 節での執行状況
支出負担行為額; 15,000 円		
歳出予算現額; 342,000 円		885,000 円
配当予算額; 342,000 円		885,000 円
支出負担行為済額; 340,000 円		695,000 円
配当予算残額; -13,000 円		190,000 円
請求年月日; H04 / 07 / 14		
債権者登録番号; 0000456		支払方法; 3 口座振替
債権者住所; 神奈川県川崎市幸区鹿島田		支出区分; 1 通常払
債権者氏名; 日本株式会社		
代表者名;		
支出内容; 財務会計用ファイル @1500×10		
DB更新・伝票出力が終了しました。 決裁処理は財政課までです。		

テーパーフアイルのレイアウトの一例

予算科目コード (款 - 項 - 事業 - 節 - 細節)		予算残額 確認レベル	決 裁 範 囲					(単位:円)
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	
01-01-01-0101-01-01		4	500万以上	500万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
-02-01		5	100万以上	100万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
-02-02		5	100万以上	100万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
-02-03		5	100万以上	100万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
01-01-01-0102-01-01		4	500万以上	500万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
-01-02		4	500万以上	500万未満	50万未満	10万未満	1万未満	
-01-03		4	500万以上	500万未満	50万未満	10万未満	1万未満	

【図7】

- 備 考
- 予算残額確認レベル
- 1: 款
- 2: 項
- 3: 目
- 4: 事業
- 5: 節
- 決裁範囲
- 区分1: 市長まで
- 区分2: 助役まで
- 区分3: 総務部長まで
- 区分4: 財務課まで
- 区分5: 主計部長まで

予算執行伝票の一例

市長		助役		総務部長		財政課		主管部長		主 管 課	
****		****		****		課長補佐係長		課長		補佐係長	

支出負担行為決済書										支出負担行為 番号		001025-00	
所属課(所)		003010 農政課		起票年月日		平成 4年 7月14日		経 理 担 当		限 務			
会 計 年 度		平成 4年度		会 計 名		01 一般会計		予 算 区 分		1 現 年			
科 目		款 01 農林水産業費		事 業 0101 東部地区農業構造改善事業費									
		項 01 農林業費		節 02 需要費									
		目 01 新農業構造改善事業費		細 節 03 消耗品費									
支 出 区 分		1 通 常		性質別コード		120000-1		単集区分		1 単件			
支出負担行為 金額						15,000 円		配 当 予 算 額		支出負担行為済額		配 当 予 算 残 額	
								342,000 円		355,000 円		-13,000 円	
債 権 者		住所 神奈川県川崎市幸区鹿島田											
登録No.		0000456		氏名 日本株式会社									
支 出 内 容		財務会計用ファイル @1500×10											

【図9】